

「山梨県小学生バレーボール連盟 感染防止策」

<日頃から、感染防止策に努めて下さい。>

各種ガイドライン（県小中体連、日本バレーボール協会など）を基に、体調管理および把握、3つの密（密閉、密集、密接）を避け、手洗いや手指消毒（多数が触れる場所、物の消毒）、咳エチケットを心がけ、「安全な大会運営」を目指して今大会を実施いたします。これまでの大会とは違う部分ですので、ここに挙げる「感染防止策」をご理解いただき、この大会を無事に終了できるよう、以下について確実にお願いいたします。なお、今大会は感染症防止策として「無観客」での大会といたします。

1 大会前～大会当日

- (1) 別紙【1】と【2】（両面印刷）を選手に配布し、保護者にも各家庭での健康チェックの依頼や、体調のすぐれない場合は出場できないこと（同行もできない）を伝える。※「安全な大会運営」を意識する。
*各チームでは選手及び保護者の参加承諾書を提出してもらい、大会への申し込みをする。
- (2) 「健康チェック表①」（選手は学校に提出している健康チェックカードのコピー、指導者及び引率責任者は県小連 HP のカード）を提出させ、健康状況を確認する。（大会2週間前から記録。）
：当日朝までに提出されたコピーをチーム代表者が保管する。
大会前2週間の健康チェックの中で風邪・発熱等の症状があった場合は、医療機関に相談や・受診をしてください。検査で陰性又は医師の診断でOKが出た場合、参加することができます。
- (3) この別紙【4】を選手に配布し、各家庭でも「感染防止策」を確認していただく。
※昨年度までの大会とは、異なる部分が多くあります。しっかりと確認をしてください。
- (4) 大会までに、各チームで体温計や手指消毒液、マスクを保管する袋、使用後のティッシュやマスクを入れ持ち帰る袋などを用意する。
- (5) 大会当日提出する「エントリー用紙」を準備する。（大会全ての日で提出）
- (6) 大会当日、朝の集合時に健康チェック表①の回収と当日の検温及び健康状態の確認をして、健康チェック表②に記入する。
*発熱が見られたり体調に不安のある選手や、健康チェック表①の提出のない選手は、参加できない（同行もできない）ので、事前に保護者にも確実に確認しておく。
- (7) 会場への移動は、マスクを着用し窓を開け、間隔を開けて着席する。大声は出さず移動する。（濃厚接触の状態を作らない。）消毒剤を持参し、乗車前、降車後は、手指消毒をする。
- (8) 大会当日スケジュール（1日目）各会場
 - 8：00 役員集合・打合せ・会場準備及び役割分担
 - 8：30 集合・受付 各チーム代表者（健康チェックカード②の提出
 - 8：45 指導者・引率責任者代表打合せ
 - 9：04 第1試合の両チーム・補助役員の入場、アップ開始
 - 9：19 プロトコール開始
 - 9：30 第1試合開始
* 試合終了後、選手はベンチを開け補助役員の準備をする。引率責任者は用具、ベンチの消

毒を行う。

* 記録はまとめを行い、記録が終了後、選手を入場させ 15 分間のコート練習を行う。
その後、プロトコールを開始し、試合に入っていく。

* 1 日目の最終試合が終了後は、選手は速やかに会場から移動する。引率責任者は会場の消毒に協力する。

大会当日スケジュール (2 日目)

7 : 3 0 役員集合・打合せ・会場準備及び役割分担

8 : 3 0 集合・受付 各チーム代表者 (健康チェックカード②の提出)

8 : 4 5 指導者・引率責任者代表打合せ

9 : 0 4 第 1 試合の両チーム・補助役員の入場、アップ開始

9 : 1 9 プロトコール開始

9 : 3 0 第 1 試合開始

* 試合終了後、選手はベンチを開け補助役員の準備をする。引率責任者は用具、ベンチの消毒を行う。

* 記録はまとめを行い、記録が終了後、選手を入場させ 15 分間のコート練習を行う。

* 男子・混合は (3 試合) 試合終了後、表彰式終了後解散する。

* 女子は 3 試合終了後、昼食を取り決勝戦を行う。終了後、表彰式を行い解散する。

※ 1 日目・2 日目ともに開始式と全チームがそろっての朝のコート練習は行わない。

責任者へ必要な連絡は各チームが会場に到着後、役員を通して行う。

各会場の準備・片付けは連盟の役員及び指導者が行う。

片付け終了後、1 日目の大会についての振り返りを行う。(競技結果記録用紙に記入)

3 試合・応援

(1) 1 日目予選グループ戦、2 日目決勝トーナメント戦で行う。3 位決定戦は行わない。

(2) 主審および副審は、不織布マスク及びホイッスルカバーを付けてホイッスルを使用することができ、それ以外は電子ホイッスルを使用しマスクを着用する。

(3) ベンチスタッフおよび、ベンチの選手 (控え選手) はマスクを着用する。

交代して出場する場合は、各自のビニール袋等を準備し (名前などを書き)、その中にマスクを保管する。(他の選手のものとは混ざらない、他の選手が触れない。)

※ 館内の人数を極力少なくするため、無観客試合 (応援は試合中のチームのベンチ外メンバー [選手] のみで、マスク着用・大声での応援や「鳴り物」を使用することは禁止とし、大きな動きを伴わない拍手のみの応援を行う。保護者の観戦はなし) とする。

※ マスクを着用しての応援等では、こまめに水分補給を行い熱中症予防に努める。

(4) 各チームは ベンチに消毒剤を持参し、セット間に手指消毒を行う。 また、試合後には石鹸にて丁寧な手洗い及び手指消毒を行う。

(5) 選手は、水筒やタオル、アイスバッグなど各自で用意し、自分のものを使用する。(共用はしない。)

- (6) 各会場の窓およびカーテンの開閉については、窓及びカーテンは開け、換気を行いながら試合を行う。(荒天時などは別。)【各会場の使用上のガイドラインに沿う。】
- (7) 競技中、必要以上の大きな声を出すこと、合わせた掛け声や選手同士のハイタッチ、円陣を組んでの掛け声、ネット際などで相手に向けた状態での発声などは控える。
ベンチスタッフも、大声によるコーチングは控える。
また、選手交代も手を合わさずに行い、試合前後の相手選手との握手を行わない。
ベンチでの集合時でもできるだけ密集・密接を避ける。
- (8) 審判(主審・副審)は各チームの指導者(有資格者)が務める。
選手は、補助役員(記録やラインジャッジ、点示)を務める。
※1日目は、試合をしていないチームの指導者、選手で務める。
※2日目の第1試合は、第2試合の両チームで行う。
2試合目以降は、前の試合で敗退したチームの選手が補助役員を務める。

4 試合終了後・試合間

- (1) 試合後は、速やかに体育館外へ移動し待機する。(密を避ける。)
- (2) 試合後、補助役員を行う場合も、それ以外の選手は速やかに体育館外へ移動して待機する。
各チームは、試合(役員)終了後解散とする。*終りの会は行わない。
- (3) 昼食をとる場合、体育館外として密を避けてとる。(シートを敷き集まってるの食事等は禁止とする。)
- (4) 更衣室等での更衣の場合も、マスクを着用し会話等は控える。更衣後は石鹸での手洗いをを行う。
※体育館外(駐車場等)で、待機する場合(昼食時も含めて)も、マスクを着用し密を避ける。
石鹸での手洗いをを行う。
*バスや、保護者の車がある場合は、その車中での待機も可とするが、十分な換気と、間隔をとる。

5 その他

- (1) 石鹸及びアルコールでの手洗いや手指消毒を積極的に行う。
- (2) 鼻水、唾液等が付いたごみは、ビニール袋を各自が持参し、その袋に入れて密閉して縛り持ち帰る。
- (3) 会場のトイレを使用する場合、ふたを閉めて汚物を流す。
- (4) 各チーム、引率責任者が写真撮影等行うことができるが、撮影は試合の妨げにならない場所から、フラッシュ無しで行う。ビデオ撮影を行う場合、会場の電源を使用することは禁止とする。
- (5) 選手送迎時の保護者の駐車マナー(駐車禁止スペースへの駐車など)や敷地内での喫煙は禁止し、出したゴミ等は必ず持ち帰る。
- (6) 感染防止策(消毒等)、送迎、緊急時の対応、試合運営(記録など)等を行う、「引率責任者(大人)」が必要となる。各チーム3名とし、そのうち1名は原則ベンチに入る事とする。
引率責任者3名も、チームスタッフ用の健康チェック表を用いて、2週間前からの健康確認をする。また、ネームカードに「引率責任者」と記載して、分かるように掲示することとする。
※連盟役員及び引率責任者は、消毒剤を用いて、会場のドアや手すり、トイレ内、試合後のベンチ等の消毒をこまめに行う。
また、会場内および駐車場にも目を向け、密を避けるように巡回、注意する。

(7) テクニカルタイムアウトについて（感染予防のため 60 秒とする。）

・「感染予防、給水、汗拭き」を目的としているので、次の点に注意する。

プレーヤー：ウォームアップエリアにおいて手消毒、給水をする。

モップをかけるためにコートへ入ることは許されるが、それ以外はウォームアップエリア付近にすることとする。ウォームアップエリアへは最短距離となるコースを
通って移動する。

チームスタッフ：ベンチに着席すること。プレーヤーに対して戦術的な指示を出すことはできない。

ただし、マネージャー・引率責任者は手消毒・給水などの補充のため、ウォームアップエリアに行くことは認められるが、監督・コーチからの戦術的な伝言等をしてはならない。

手指消毒を必ず行う。

・テクニカルタイムアウト後、選手がコートインしたら、通常のT Oの取り扱いと同様になる。

※ テクニカルタイムアウト以外に、従来通り各セット 2 回のタイムアウト（30 秒間）を各チームが
要求することができる。